※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	（学）実用書	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎からゆっくり学んでいきます。美しい読みやすい文字を書くことを目標にします。
・丁寧に根気よく、何度でも繰り返し、粘り強く練習することが大切です。
・授業ではボールペンと細筆と筆ペンを使用します。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通じて、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）書の表現の方法や形式、多様性について幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に着けるようにする。
（２）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする
（３）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	主体的かつ創造的な書道の表現をするために必要な知識や技能を身につけ、効果的に表現方法を工夫している。	書のよさや美しさを感じ取り感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現している。	書作活動の喜びを味わい、多様な表現方法や書道文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	ペン字練習	・ペン字練習 楷書の基礎 仮名の基礎 俳句短歌　手紙文 挨拶文　履歴書 実務文書 ・筆ペン練習 行書の基礎 仮名の基礎 年賀状　熨斗書き	a:基本的な用具の扱いを理解しようとしている。文字を美しく書くための基礎・基本を身につけようとしている。 b:目的や用途に応じた形式と書き方を判断し、文字の大きさ、配列、書体など、それぞれに適した書き方を工夫している。 c: 手書き文字が生活の中で果たしている役割を理解し文字の効用に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。	提出作品 レポート ポートフォリオ	提出作品 レポート ポートフォリオ	授業への取り組み ワークシート
後半	細筆練習	・細筆の練習 氏名　地名　四文字熟語 いろは歌　　俳句短歌 年賀状　手紙文	a:基本的な筆墨の扱いを理解しようとしている。文字を美しく書くための基礎・基本を身につけようとしている。 b:目的や用途に応じた形式と書き方を判断し、文字の大きさ、配列、書体など、それぞれに適した書き方を工夫している。 c: 手書き文字が生活の中で果たしている役割を理解し文字の効用に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。	提出作品 レポート ポートフォリオ	提出作品 レポート ポートフォリオ	授業への取り組み ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度